

上気道炎における抗菌薬適応の是非について

井上病院 内科
前田 忠昭

日本内科学会総合内科専門医
日本腎臓学会腎臓専門医
日本透析医学会専門医

昨年(2015年)の4月より井上病院内科勤務となりました前田と申します。外来では腎臓内科を標榜科としておりますが、一般内科外来も兼ねております。今回は特に診察頻度が高い疾患の1つである急性上気道炎についてお話しさせていただきます。

■急性上気道炎とは

急性上気道炎は、感染部位によって鼻炎(ここではアレルギーを含まない急性感染性ものを指します)、咽頭炎、扁桃腺炎、喉頭炎に分類されます。急性上気道炎の原因は、大まかにはウイルス性が8〜9割、細菌性が1〜2割といわれており、ウイルス性の多くは経過とともに自然治癒すること、ウイルス性の場合は細菌性と違い感染部位が上記分類した複数部位にわたることが多い(胃腸炎を併発することもあります)ことから、総合して感冒Ⅱ風邪症候群と診断

することもあります。抗菌薬が効果を発揮するのは細菌性感染症である1〜2割にすぎないため、この場合は抗菌薬は必要がない。効果が期待できない状態といえます。この場合は去痰薬や解熱鎮痛薬により症状を軽快させて自然治癒を待つこととなりますが、ウイルス性上気道炎の中にも強い症状を示す疾患があり、特にインフルエンザなどは高齢の方喘息はじめ慢性呼吸器疾患などの基礎疾患が存在する方は重症化に注意が必要です。また、喉頭炎、扁桃腺炎は重症化した場合には食事や水分摂取が困難になり、ひどい場合には窒息に至ることもあるため、これらに十分留意の上で適切な治療を選択していく必要があります。

■ウイルス感染症治療としての漢方薬

近年漢方薬による上気道炎治療が注目されており、特にインフルエンザに保険適応となつている麻黄湯は、代謝の亢進効果に加えてウイルス増殖抑制効果や罹患期間の短縮効果(他のインフルエンザ治療薬と差がない)の報告もあります。また、初期の感冒・葛根湯、感冒十鼻炎・小青竜湯、扁桃腺炎・桔梗湯、をはじめ保険適応となつている薬はいくつもあります。

ただし、感染症に対しての漢方薬治療は症状変化や経過によつては効果のある薬剤が変わり、症状改善が芳しくない場合は使用を継続するより抗菌薬以外の薬を含めた他剤への治療変更を検討する必要があります。そのため、短期決戦的な使用法を

とることが基本となります。さらに先述の麻黄湯に含まれる代謝を高める成分が高齢者で元々体力が低下している方には悪影響する可能性があり、漢方薬の選択自体にも注意が必要です。

■細菌感染症の場合

解熱薬や漢方薬による対症療法で自然治癒することもあります。細菌性感染症の場合はウイルス感染症に比べて全体的に症状が重い傾向にありますので、病勢が強い場合は抗菌薬の選択が必要となります。注意すべき症状としては、

- ・悪寒を伴う高熱(38.0℃以上)。
- ・喉の痛みによる飲食の不可。
- ・鼻汁や痰に黄や緑などの色がついて膿性になり、かつ量の増加。

などが挙げられ、これらが認められる場合は細菌感染症病勢の悪化を疑います。以上をまとめますと、

- ・上気道炎に対して、基本的には抗菌薬が必要ない。
- ・漢方薬は対症療法のみならず、ウイルス自体を抑制する効果が期待できるものもあるが、病状によっては悪影響を及ぼすこともあるため、選択には相応の慎重を要す。
- ・細菌感染症の活動性が強い場合には、積極的抗菌薬使用が必要となる。

以上を踏まえた上で、基礎疾患があったり、重症化のサインがある場合は、抗菌薬使用を含めた柔軟な対応が必要となる旨を心に留めながら、今後も診療にあたっていく所存です。



肺炎球菌ワクチンについて

「健康寿命」という言葉をご存知ですか？

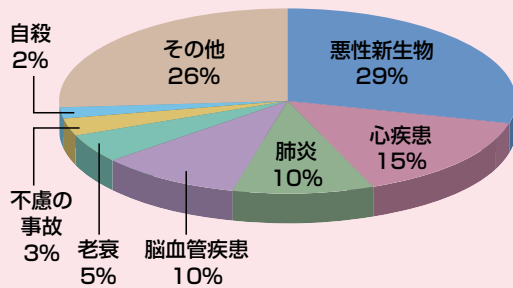
健康寿命とは「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」のことです。65歳を過ぎると加齢とともに免疫機能が低下するため、感染症にかかるリスクが高くなります。「病気になるように予防する」ことはとても大切なことで、「肺炎の予防対策」も重要課題となっています。

なぜ「肺炎の予防対策」が必要なの？

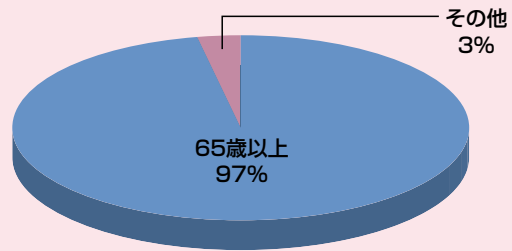
日本における死因の第1位は「がん」、次いで「心疾患」そして第3位が「肺炎」です。また、肺炎で亡くなる年間約12万人中、65歳以上の割合は97%なのです。

肺炎球菌は気管支炎や肺炎、敗血症などの重い合併症を引き起こすことがあります。「予防接種」や「ワクチン」と聞くと、乳幼児のためのものと思いがちですが、加齢とともに免疫機能が低下するため、感染症にかかるリスクが高くなります。

主な死因別死亡数の割合



肺炎死亡者数に占める65歳以上の高齢者の割合



厚生労働省：平成24年人口動態統計月報年計（概数）の概況より作成

「肺炎球菌ワクチン」について

「肺炎球菌ワクチン」は、肺炎球菌による感染症（肺炎など）を予防するワクチンです。肺炎球菌にはたくさんの型があるので全てを予防できるわけではありませんが、接種しておくことで、ワクチンに入っている型が原因のものには予防効果が期待されます。インフルエンザと同じように副反応（接種部位の腫れ・赤み、筋肉痛、だるさ、発熱など）が生じることがあります。

接種後、気になる症状や体調の変化がありましたら医師にご相談下さい。



私たちの理念

私たちは一人ひとりの生活を豊かにします。

- 私たちは **お客さま本位の医療** を提供します。
- 私たちは **腎医療の専門領域** を確立していきます。
- 私たちは **働き甲斐のある職場** づくりを目指します。
- 私たちは **地域住民の健康生活** に専らします。

医療法人 蒼龍会 井上病院

医療法人 蒼龍会

井上病院

〒564-0053

大阪府吹田市江の木町16番17号

TEL 06-6385-8651 FAX 06-6386-1131

<http://www.soryu.jp>

お客さまへの約束

私たちは

- 適切な医療を提供いたします。
 - 治療に対して十分な説明を行い、ご自身の選択に基づく医療を進めます。
 - 必要なときはいつでも診療情報をお伝えします。
 - プライバシーを尊重することを約束いたします。
 - より良い医療が行われるよう、常に研鑽いたします。
- 病院は療養の場です。
病院の規則を守るなど、皆さまのご協力をお願いいたします。

医療法人 蒼龍会 井上病院